

中国ラフティング国際大会 報告書 (ラフティングチームテイケイ選手 鈴木達也)

期間： 平成 21 年 8 月 10 日～13 日【4 日間】

場所： 中国黒龍江省伊春市 (ハルビン空港から車で北へ約 3 時間)

参加者： 鈴木達也、柏木星穂 (ラフティングチームテイケイ)

参加国： 日本、中国、ニュージーランド、チェコ、オーストラリア、インドネシア

オランダ、ハンガリー、スイス、ロシア、イギリス 【11 カ国、全 18 チーム】

レース結果：

順位	チーム名	成績
1	日本	1 : 33'10"48
2	ニュージーランド	1 : 33'47"88
3	中国 1	1 : 34'42"78
4	中国 2	1 : 36'10"48
5	チェコ	1 : 37'21"22
6	中国 3	1 : 38'15"29
7	オーストラリア	1 : 38'40"85
8	インドネシア	1 : 38'46"06
9	中国 4	1 : 39'59"20
10	中国 5	1 : 40'00"97
11	中国 6	1 : 42'46"47
12	オランダ	1 : 42'47"94
13	ハンガリー	1 : 44'17"80
14	中国 7	1 : 46'10"65
15	スイス	1 : 46'50"07
16	ロシア	1 : 49'46"47
17	イギリス(女子)	1 : 52'17"53
18	中国 8	1 : 56'01"97

レース内容：

- ☆ R2 (二人乗り)
- ☆ 15 キロのダウンリバーレース
- ☆ 30 秒間隔でのタイムトライアル形式

所感：

今回このような経験ができるチャンスを頂き本当にありがとうございます。

中国大会はメディアや地元の人たちが集まり盛大に行われました。

レースではスタート直前のコース変更で中盤から後半にかけては見た事のない場所でのレースで、中盤からはとにかくコースの先を見て口をなくす事に集中しました。

その場の対応力が非常に重要なレースでした。

大会の目的として伊春市への観光客誘致が目的だと思われます。

レースまで何も不自由なくそして中国まで招待して頂いた中国の主催者、多くのスタッフにも本当に感謝しています。

今回は貴重な体験ができたと思っています。この経験を活かし次の大会へつなげていきたいと思っています。